

○大浦優之介

今回での現場見学会で、建設・建築会社を合わせて4社の会社を見学させていただきました。

最初は、トンネルの開通工事の現場を見ました。僕は、1つの会社が工事していると思っていたのですが、4つの会社が分担して工事をされていました。VR体験などをして工事現場に潜んでいる危険について動画を見ました。アスファルトを均していく大型の重機が動いている動画を見ました。1人の人が操縦していて、こういう事はAIに任せるより、しっかり人の手ですることに意味があるのだなと思いました。

次に、三加茂の第二堤防の工事を見学しました。そこは、土の中に埋まっている物を探す宝探しをしました。僕が知っていた現場ととても違っていました。測量で本来は2人で行う作業を1人で行えるようにして技術の進歩に驚きました。

次に、美馬にあるほ場の整地をしている現場に行きました。そこでは、ドローン体験やICTのブルドーザーやバックホウの説明をさせていただきました。最初にパソコンで現場のデータを作って、それをブルドーザーとバックホウの操縦室にあるタブレットにデータを送って、それを元に操縦していました。データを送っていると、その通りに動くから操作しやすいのかなと思いました。

最後に、脇町の福祉センターの耐震工事と改修工事の現場を見に行きました。ドアの前に改修前の部屋の写真が貼られていました。すごく綺麗になっていて驚きました。

今回の、現場見学会で今までの印象と現場の事について変わりました。益々、就職したいという思いが強くなりました。

○逢坂大斗

1番目の現場見学は、トンネルの現場を見学しました。初めは、無音だったのであまり迫力は、感じなかったけど音ありの時は、迫力を感じました。トンネルの中は、中々寒かったけど集中して聞けたので良かったです。

2番目の現場見学は、堤防の現場を見学しました。そして、ワンマンで出来る測量でお菓子引換券を見つけました。実習で使っているレベルとは、使い方も全然違いましたし、僕にも出来るレベルだったので、とても使いやすかったです。

昼飯は、弁当と思っていたのですが、定食料理だったのでとても嬉しかったです。僕は刺身が好きなので好物があると力が出ました。また、ふぐみきさんに行って刺身を食べました。

3番目の現場見学は、高木建設に行きました。バックホウや、ユンボにパソコンみたいな画面に設計が写されてこれ以上掘るとSTOPがかかって掘れなくなるシステムが、とても凄いと思いました。それを操るオペレータがとても少なく給料が、とても高いと聞いたので、僕もオペレータを目指して勉強していきたいです。

4番目は、北岡組の現場見学に行きました。北岡組の現場は、古い老人ホーム耐震、大規模改修工事の見学をしました。人があんなに大きな福祉センターを工事するのは、大変凄いと思いました。人々の役に立つ仕事をやっていくのは、やっぱり技術者の技術だと感じました。

○大館快斗

今回現場見学会でいろいろな事を学びました。まず思った事は、土木建設の仕事のほとんどが最

先端のICTを取り入れていたことにビックリしました。僕の中の土木建設の仕事のイメージは、先輩達から技術を見て盗めという堅苦しいイメージがありました。でも実際現場を見てみるとその様な風潮は無く、誰でも比較的簡単に仕事ができるようになっていました。

僕は土木建設の仕事に偏ったイメージがあったので、将来土木の道に進むのに抵抗がありました。ですが今回の見学会でそのような偏ったイメージは無くなりました。その上今回の見学会で土木建設の仕事の重要性、カッコよさなどを強く感じました。

また土木建設の仕事仲間の皆さんはとても仲が良く、とても楽しそうに仕事をされていました。この事には僕も強く心魅かれるものがありました。

また現場の案内説明をしてきていた高木建設の高木さんの話には心を打たれました。「土木建設の仕事が町を治し、町を造っている」という話をきいて、僕も町を造ってみたいと思いました。

それに皆さんとてもやりがいがあると言っていました。確かに自分の造っているものが社会の一部になって皆に使われるとなると、それを造り上げた時に誇りになると思います。だから自分も将来は土木関係の仕事に就きたいと思います。

○岡田飛鳥

僕はこの現場見学会に参加して、いろいろなことを学ぶことができました。自分達の知らないところで災害などの復興に建設業の人たちが一番苦労していることなどを知り、より一層建設業に興味が湧きました。

僕が印象に残っているのは、VR（バーチャルリアリティ）とドローンの操作です。

まずVRはほとんどの現場で体験をしました。1つ目の現場では作業中の事故についての映像を見ました。このことで高所作業の危険性やそれを未然に防ぐ方法などを学ぶことができました。2つ目の現場では堤防の完成後や上空からの映像、水中からの映像などを見て完成が楽しみになってきました。3つ目の現場でも工場の完成後の映像を見て風が強くて接続が悪くあまり見えなかったのを覚えています。

次にドローンの操作ですが、僕はドローン自体やドローンを操作しているところをテレビでしか見たことがなく自分には全く関係のないものと思っていましたが、今回のドローン操作の体験でドローンがあることによってどれだけ作業の効率が上がるか作業員の疲労が少なくなるかが分かりました。

昼ご飯はふぐみきで食べました。ご飯はもう少し食べたかったけどおいしかったです。

今回は、普段の学校生活では経験することのできない貴重な体験ができ、とても楽しかったし自分のためになったと思います。お忙しい中このような機会を下さりありがとうございました。

○川人 圭

昨日、色々な現場に行きました。重機やドローンを操縦しました。

1番目に行ったトンネル工事の現場では、VRと、工事の様子の動画を見ました。トンネルの道路づくりで、あれだけの工程をしなければならぬのだと、初めて知りました。VRでは、安全確認の動画を見ました。僕は海の作業中に事故が起きる動画を見ました。作業中は、油断は禁物というのが分かりました。

2番目に行った現場では、快速ナビというものをしました。誰でも簡単に位置を確認が出来て楽でした。井上組の社員の人がおっしゃっていました。昔より仕事が楽になったとおっしゃっていま

した。重機にICTが導入されたことによって、どこまで掘るかなどがICTですぐ分かり重機が勝手に止まってくれると教えてもらいとても楽だとおっしゃっていたので、僕が思っていた土木仕事のイメージが変わりました。前までは、力仕事が多いのかと思っていましたが今は、楽に出来るのだなと思いました。

3番目に行った高木建設では、ドローンを操縦させて頂きました。昨日は、風が強く、ドローンが流されて操縦するのが難しかったです。

今日の現場見学会で社員の人と話しをしましたが、どの人も言っていたのが、昔に比べて仕事が楽になったと言われました。杭打ちもいらなし、ICTの導入で重機の操縦も楽になったと分かり、土木の仕事の印象が変わってとても良かったです。

○北岡直樹

僕は、現場見学会に参加して、たくさんのことを学ぶことができました。僕の知らないことがたくさんありとても貴重な体験をすることができました。

僕は、開通前のトンネルに入るのは初めてでとても印象に残っています。トンネルの中は、すごく寒くてその中で工事をしている人達はすごいなと思いました。トンネル内の工事は音が大きくて人の声が聞こえにくく、安全面では少し不安を持ちました。トンネルは、絶対に必要な道なのでやりがいのある仕事だなと思いました。

2か所目では、快速ナビ操作手順を教えてくださいました。これは、一人で正確な位置を見つけずばやく作業を行えるので、時間短縮にもなりますし、ストレスが溜まりにくいといったメリットがありました。

3か所目では、ドローンの操作をさせてくれました。難しいと思っていたけど、すごく簡単でとても楽しかったです。また、近くで大型重機を見てとても迫力がありました。その反面操作ミスをしてしまうと、大きな事故につながるのだなと思いました。説明も分かりやすく貴重な体験をすることができました。

4か所目では、今回初めての建築関係の仕事を見せてもらいました。土木とは違った仕事のやりがいを感じました。僕は、土木と建築の差があまり分からなかったけど大きな差を見つけることができました。

今回は僕達のために、現場見学をさせて下さり本当にありがとうございました。また、機会があれば現場見学会を開いて下さい。

○佐古勇希

11月11日の現場見学会に参加して、僕はたくさんのことを学ぶことができました。その中でも、僕は心に残った現場が2か所ありました。

1つ目は、最初に行かせてもらった「トンネル舗装」の現場です。僕ははじめて、工事中のトンネルに入りました。中に入った時、温度が低くてとても寒く感じました。トンネルの中では、アスファルトではなくコンクリートが使われていて、トンネル内で事故があっても燃えにくくなっていることを初めて知りました。いつもだったら、何も思わず通っているトンネルですが、いろいろな工夫がされていること学びました。

2つ目は、3番目に行かせてもらった「ほ場整備工事」の現場です。この現場では、4つの体験をさせてもらいました。ICTブルドーザー、ICTバックホウの説明を聞いて時間の短縮や、簡単

な作業で操作でき効率が上がっていると聞いてすごいと思いました。ドローンの操作をしてみて、風が強い中での操作するのは思い通りに動かせないこともありました。機械を使うことは難しいと感じました。

僕はこの一日の見学を通して、1つの現場にたくさんの人が関わって、自分の役割をすることで1つの物が完成するものだと感じました。また、自分の地元で地域のために働くということのすばらしさが分かりました。自分が育った所で働くのもいいなと感じました。現場見学会に参加して、貴重な体験ができてよかったです。昼ご飯もおいしかったです。ありがとうございました。

○武田寛大

今回の現場見学会では、様々なことを学びました。

1つ目は、どの現場でも、Virtual Reality 略して VR をよく使っていて本物のような体験ができてとても良かったです。昔は完成がどのようになるか完成するまでわからなかったのがわかると聞き、最近はとても発展しているのだなと感じました。

2つ目は、井上組さんのプリズムの機械に心が惹かれました。あのプリズムはすごく高そうで使い辛い機械だなと初めて見た時に思いました。ですが実際使ってみたところ、思っていたのと全然違って本当はめちゃくちゃ使いやすくことに気づきました。操作の中にどこでもナビは一番すごいと思いました。説明して下さった言葉の中で、「ストレスがなく早く終わる」という言葉は心にグッときました。仕事でストレスがなくて早く終わるなんて夢のような事なのであの機械はとてもすごいと思いました。

3つ目は、高木建設さんのバックホウです。あのバックホウのセミオートモードでは、下に動かしても勝手に止まるなど簡単に操作できるので近代的な機械だなと思いました。自分は自転車など乗るのが苦手なので、あのような機械を乗るのは苦手かなと自分の中で思っていたのですが、機械を見て自分でもいけそうだなと思いました。

現場見学会では、自分の思っていたこととイメージが違ったので、驚きがたくさんありました。バスの中では高木さんの説明がわかりやすく楽しかったです。見学会では、たくさんの方々がお忙しい中貴重な体験ができてうれしかったです。本当にありがとうございました。

○板東由悠季

今回は私たちのためにこのようなことをして頂きありがとうございました。貴重な体験になりました。

まず1つ目のトンネルは、開通前に入れるなどトンネルの舗装の仕方、アスファルトではなくトンネル坑内だけはコンクリートでできていることやコンクリートでできている理由などたくさん教えて下さってとても勉強になりました。

2つ目の井上組さんの堤防を見たときは、まだできていなかったけど快速ナビを使ってお宝を探すなど楽しかったです。機械の説明を聞いているときに学校のとは違いすぎて1人でできて平行もすべて機械でやってくれるのでうらやましかったです。

3つ目の高木建設は、ドローンやショベルやVRでの堤防観察などいろいろ初めての体験でした。ドローンは風も強くて操作しなくても風で流されていたのでちょっと怖かったです。でもドローンを操作できるのは最初で最後の経験だと思うので貴重な体験をさせて頂きました。ショベルやダンパーなど今はすべて機械でできると聞いたときは驚きと感心がありました。

4つ目の北岡組では、初めての建築現場で耐震には鉄骨などで固定しているところに気付きました。耐震のCMとかをよく見るのですがCMは家の下に何かをしているのかと思っていたのですがこの現場を見たら天井についていたので天井につけるのだなと思いました。

私たちのために時間をさいていただきありがとうございました。将来のためにこのことを生かしていきたいです。

○平尾泰樹

僕は今回の現場見学会に参加して、トンネルの現場でVRの体験をさせてもらい工事現場での事故は改めて危険だと感じる事ができ、自分も工事現場にいるときは事故をしないように気を付けたいです。また、大型の機械も使っていたのでとても感心しました。

2つ目の現場では、測量の機械がとても便利で手順も簡単だったのですぐ覚えることができたので良かったです。

3つ目の現場では、大型機械やドローン、VRの体験をさせてもらい大型機械にも不具合があるのでとても便利だといえないとわかりました。ドローンの操作は簡単だったのでドローンを使って仕事をするのは便利だと思いました。

最後の現場では、建築の現場で新しくするために改造していたので、新しくなったところを喜んでもらえると、とてもやり甲斐のある仕事だと感じました。

今回の現場見学会に参加して、建設業の人たちは色々な場所で活躍していることがわかりました。災害が起こった時も建設業の人たちが動いていることを知りとても良い仕事だと感心して、自分も土木関係の仕事に就職した時に災害が起こった時や見えないところで活躍をして建設業の仕事がカッコいいと思ってもらえることや、胸を張ってこの仕事はとても素晴らしいと魅力を伝えたいと思いました。

今回現場見学会をさせてもらえた場所や人たち、バスの中で土木の話をして下さった高木さんに感謝したいです。

○藤岡 翼

僕は現場見学会に参加して、1つ目の現場では、VRがとても印象に残っています。建設の仕事は危険と隣合わせだと感じました。

2つ目の現場では、VRや測量を体験させていただきました。ひとりで測量ができる機械はとても魅力的でした。

3つ目の現場では、ドローンなど大型重機などの操作方法などを学ぶことができました。手慣れたベテランの人じゃなくても、簡単に操作ができる機械にはとても驚きました。

4つ目の現場は、唯一の建築の現場でした。古くなった施設を耐震・補強・改装するのはとても大切だと思いました。

僕が今回の現場見学会で感じたことは、建設業の仕事は危険なことも多く大変な仕事だと思いますが、とてもやりがいを感じられる仕事だと感じました。それにどの現場でも雰囲気がよく、働きやすそうだなと思いました。

また、災害が起こった時には、警察や自衛隊だけではなく、地元の建設関係の人たちも率先してボランティア活動をしているときいてとてもカッコいいと思いました。

僕は進学と就職を迷っていますが、今回の現場見学会を通して、僕も建設業に就いて、世のため

人のために働きたいと思いました。

今回はこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

○藤原翔吾

色々な現場を見てみて、どこでもVRを活用していることが知れました。それに、3年前の中学校で職場体験に行った時よりもコンピュータ化が進歩していて、更に便利になっていました。

最初に伺った『西山トンネル舗装工事』では、三重構造なっていることを知りました。トンネル坑内はコンクリート舗装になっていて、それが自分達の安全などに関わっていることを知り驚きました。しかも、コンクリートを均す作業では機械を使わず人の手で丁寧に行うという誇りを持っていることに感動しました。

2つ目に伺った井上組では測量体験を受けました。そこでは、最低2人で行っていた測量が1人でも出来るようになっていました。しかも計測されたデータは、重機などに送られ機械がその通りに動いてくれるなんて、とても便利化されているのだなと思いました。

昼食では、『ふぐ処味喜』で、とても美味しい定食を頂くことができました。

午後からは、ドローン操作などとても貴重な体験をすることができました。高木建設では、僕達の町を守ってくれる堤防を造られていることを知りとても嬉しく感じました。

最後に、伺った現場では、改装工事の途中経過を見学させてもらうことができました。そこでは旧脇町老人福祉センターの耐震工事などが行われていました。それは、町の人・子供達の為に行われていることを知りとても素晴らしい事だなと思いました。

移動中のバスでは高木建設の社長さんの話を聞き、とても勉強になりました。トンネルの道は何故コンクリートなのか、各県によってほうき目の引き方が違い、音が変わる事や、給料が高い分リスクがあることなど色々と知る事ができ、話を聞いていてとても楽しかったです。

この現場見学会では現場の職人さんや今の現場の事などとても色々な事を勉強出来てよかったです。これを、これからの就職に繋げていきたいと思います。

○三木謙汰

1つ目は、徳島県と香川県をつなぐ猪ノ鼻トンネルの現場見学をしました。事業の進め方として測量・調査やスリップフォーム工法や他にもいろいろな工程がありました。ここで僕が思ったことは、2つあります。1つ目は、トンネルはとても長い時間を費やして何年もかけて完成するという事です。2つ目は、オペレータが少なく限られた人しか使えないのでオペレータはとても大変だということです。

2つ目は、井上組に行きました。快速ナビとVR体験をしました。快速ナビは、1人で測量ができる素晴らしい機械を体験させていただきました。とても楽だと思いました。VR体験は、完成後の堤防を見せてもらいました。空から見た堤防や川から見た堤防など色々な角度から完成後の堤防を見せてもらい良かったです。ここで僕が思ったことは、VRはどの現場に行っても使われるのだなと思いました。

3つ目は、高木建設。高木建設では、マシンコントロールバックホウ見学とマシンコントロールブルドーザ見学とVR体験とドローン操作体験をしました。ここでもやはりVR体験ありました。コントロールブルドーザ見学は、回線の関係で説明だけで終わりました。マシンコントロールバックホウ見学では、マシンが勝手に制御してくれて誰が乗っても同じ物ができると言っていて凄いと

思いました。ドローン操縦体験では、初めてドローンを飛ばしました。ここで知ったことは、ドローン測量があると聞いてとても面白いと思いました。

4つ目は北岡組に行きました。ここでは、耐震工事の中の様子を見ることができました。凄かったです。

最後にもうすぐ三年生になるのでこの体験を生かしていきたく思いました。

令和元年度 高校生建設現場見学会感想文（つるぎ高校 建設科 建築コース）

○大北勝也

11月11日に現場見学会に行きました。一番に印象に残ったのは、徳島県と香川県境に位置する猪鼻峠のトンネル工事です。

延長8.4キロの道路改良を実施することで、異常気象時における事前規制区間を回避し安全性の高い常時通行不可能な道路を提供するとともに、徳島県西部地域と香川県西部地域の連携強化を支援できるなど多くの効果が期待されています。高松市から徳島県西部を経て高知市までを結ぶ国道32号は、四国の主要幹線道路であるとともに沿線地域の日常生活を支える重要な路線となっています。しかし、交通の難所である猪鼻峠では、大雨による通行止めや冬季の積雪など、多くの課題を抱えています。その中には、猪鼻峠では、51箇所の防災上危険な箇所が存在しており見通しの悪い急なカーブや坂道が多いため、走行性が交通事故も多発していて、積雪により毎年交通規制が行われています。この見通しの悪いカーブでは平成20年から平成23年の4年間で延べ80件の死傷事故が起きています。猪ノ鼻道路の整備をすることで期待されている効果は、急なカーブ等が改良され安定した走行が可能となることで、交通事故の減少に繋がり、異常気象においても、土砂崩れや路肩崩壊等のない安全性の高いルートを確保し、地域の安全性が高まり、救急搬送ルートとして利用可能となることで、重症患者の救命率の向上が期待されています。

1つのトンネルの開通により、人々の生活を向上させ、より便利になると知ることができ大変勉強になりました。

僕たちのために大事な時間をさいていろいろな事を教えて頂きありがとうございました。

○太田直人

今回、現場見学会に参加してすべての会社が新しい技術を取り入れていることがわかりました。

1つ目の現場では、普段見ることの出来ないトンネルを造る手順を見ることができました。トンネルを造るときにはたくさんの時間と人数がかかることがわかりました。また、コンクリートを広げる機械を使うことが出来るのは日本に数えるほどしかいないことがわかりました。

2つ目の堤防を造る場所では、快速ナビという機械を使って座標を調べるものがありました。とても簡単で楽しかったです。また、山から土を取って現場に運ぶのにも手間がかかるということがわかりました。

3つ目に高木建設さんのところに行きました。4つの体験をさせていただき、とても面白かったです。とくにドローンを飛ばすのが面白かったです。少し操作が難しかったです。

4つ目に北岡組さんにいきました。耐震工事の一部を見て、こんな風に耐震工事をするのがわかりました。また、いろいろな部屋を見てとても良い体験になりました。

今回、僕たちのためにこのような見学会を開いていただきありがとうございます。とても良い体験になりました。これから3年生になるので、今回教えてくれたことをしっかりと生かしていきたいです。

○大西健太

現場見学会に参加させて頂きありがとうございました。すべての見学会でVR体験など色々な体験をさせて頂きました。まず、トンネル工事の現場では、まだ通れない所にも関わらず、坑内での見学、VTRの映像、VRの事故防止のための映像などを見せて頂き、とても分かりやすく、仕事の内容が理解できました。

2か所目の井上組の加茂第二堤防護岸工事は、自分の地元の近くだったので、毎回近くを通る時にとっても気になっていた現場でした。土をもっていたので、最初は、サッカーなどをやるグラウンドを造っているのかなと思っていたけど、堤防を造っていることを知れて良かったです。僕たちの安全のために造ってくれているので、とても感謝の気持ちでいっぱいです。僕もこのように地域の人が安全の生活を送れるように、自分も建設業の仕事に就きたいと思うようになったので、これから勉強を頑張っていきたいと思いました。

3か所目は、高木建設さんの現場を見学させて頂きました。ここでは、ICTバックホウ、ICTブルドーザー、VR、ドローンなどとても貴重でなかなか体験することができないことをさせて頂きました。ほ場整備では、今までは、堰き止めて入れていた水をパイプライン化することによって泥さらいや草刈りなどの労力を減らすことができるようになってとても効率がよく、すごいアイデアだなと思いました。

4か所目は、旧脇町老人福祉センターの現場を見せて頂きました。仕事中の建物内部に入るのは初めての経験だったので、とても記憶に残りました。

この見学会の中で一番心に残ったのは、三野の花火大会の時に、花火をあげるだけでなく、この地域が本当に安全なのかを確かめることを目的にしていたのを聞いて、この様なことまで考えるのは、とてもすごいなと思いました。今回の見学は、自分のためにも、本当にいい体験になったので、本当にありがとうございました。

○小倉 凜

今回の現場見学会では4か所の現場見学させて頂きました。

1つ目は、井の鼻トンネルです。一日中暗くて、小さなミスで大事故につながると思ったら、トンネル工事はとても大変だと思いました。VRでは事故による危険性がなされました。もし、自分がそのような現場でいたら気を付けようと思いました。

2つ目は、堤防です。宝探しのように測量したのでおもしろく、分かりやすかったです。VRは上空や川からなど色々あってびっくりしました。

3つ目は、沼田ほ場整備です。大型の重機を間近で見ることができたり、ドローンを実際に飛ばせたりと貴重な体験ができました。VRは風が強くて見えなかったので風が強い時の工事はとても大変だなと思いました。

最後は、旧脇町老人福祉センターの耐震大規模改修工事です。今回の現場見学会で唯一の建築でした。工事中の中なんて滅多に見ることができないので貴重な体験ができました。

この現場見学会で、今の建設がどのようになっているかをよく知ることができました。前までは

建設現場は力仕事で大変というイメージでしたが、最近ではコンピュータに入力して重機を動かし、ドローンを操縦したりなど、今の建設はとても発展していてびっくりしました。自分も建設関係の仕事をしたと思っているので、今回学んだ事を忘れず、就職する時に生かせるようにしたいです。今回は本当にありがとうございました。

○田岡和樹

現場見学会では普通、体験できないことができてとてもよかったです。

最初の猪ノ鼻トンネルでは、工事中の作業のVTRを見て、作業員の人達が安全に正確に作業している姿を見て、とても効率的で、またカッコよく見えました。VRでは現場の注意する点についてよく分かりました。

井上組での加茂第二堤防護岸工事では、VR体験と測量体験をさせて頂きました。VR体験では、今工事している場所にいるかのような現実的で、現場についての事をよく考えることができました。測量体験では、建築コースで全く測量したことがなく、初心者の私たちでも、しっかり測量ができました。またお菓子と引き換えしてくれると知り全力で取り組むことができました。

昼食では、ふぐ味喜でとても豪華でおいしい昼食で、みんなでおいしく食べることができました。

昼食を食べ終わり、午後からの建設現場見学会では高木建設の最先端での重機の説明を聞いたり、実際にドローンの操作体験をしたりできました。

北岡組での旧脇町老人福祉センターでは建物の耐震・耐震大規模工事の見学をしました。古い建物の再利用する所に建物の愛を感じました。

将来の就職先は建築コースで習ったことを生かして、建築関係の仕事に就きたい強く思いました。

○竹内浩伸

今回の現場見学会に参加して印象に残ったことは、旧脇町老人福祉センター耐震・大規模改修工事の現場を見学したこと、高木建設さんの現場を見学したことでした。

旧脇町老人福祉センター耐震・大規模改修工事の現場を見学に行き、普通だったら完成する前の状態の建物に入って見学をするというようなことはできないので、かなり貴重な体験をすることができました。自分が勉強してきたことがまだ建築という分野の中の一部でしかないということがわかりました。これからも建築について学んでいこうと思います。

高木建設の現場を見学したときにマシンコントロールという機能があることによって仕事が今までと比べると非常に効率がよく、初心者の人にも楽に扱うことができることがわかりました。なぜ、このように初心者の人にも楽に扱うことができるのかというと、3D設計のデータに沿って重機が動くので、粗掘削作業でミスをしてしまいそうな時でも自動整備アシストという機能が働いてミスを防いでくれるからです。効率よく作業ができるというのは素晴らしいと感じました。

今回の現場見学会で、実際に目で見て、身体で確かめてみないとわからないようなこと、普段では見ることでできない現場の状態などたくさんの貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。

○津田唐貴

今回現場見学会参加させて頂いて、とてもいい体験をさせて頂きました。

僕が一番印象に残っているのは井上組です。今の建設の仕事では、どこもVRが使っていてびっ

くりしました。その中で、井上組のVRが一番印象に強く川の水をなくし上から見たりした所も印象に残り、外で砂利の中から宝探しをしたのも印象に残っています。

その次に印象に残っているのは高木建設です。高木建設で一番印象に残っているのはマシンコントロールバックホウです。セミオートモードにすると、掘り過ぎを気にしなくて、掘っていけるのはとてもびっくりしました。

高木建設さんのVRにもびっくりしました。リモコンみたいなものをもってボタンがあってそのボタンを押すと前に進んだりして自分が行きたい場所に行けたりするのはとても便利だなと思いました。

マシンコントロールブルドーザはキャリア教育講演会で説明をしていただいた時から興味があったので、見るのがとても楽しみにしていました。GPSの通信が悪くてマシンコントロールブルドーザが動いているところが見えなくて残念でした。

昼ご飯はふぐみきでご飯をごちそうになりました。刺身がとても美味しかったです。

○輝尾哉仁

1つ目はトンネル内部でした。トンネルはコンクリート舗装で出来ているなど色々な事を知ることが出来ました。開通前のトンネルに入る機会など無いので良い体験が出来ました。そして、VR体験もやらしてもらいました。周辺の注意を心掛ければ死亡事故も起きてしまう事がわかりました。

2つ目は堤防でVR体験とセンサーを使った測量をしました。VR体験は堤防の完成図と上から見た図など色々な角度から見えました。測量は、始め難しかったけれど優しく教えてくれたのですぐ理解できてとても楽しかったです。

3つめの高木組は色々な事を教えてくれました。一番印象に残っているのは、バックホウでした。オートモードにしたら自動で止まるなど色々な事を初めて知りました。その他にもドローンやVR体験など教えてもらってとても自分のためになりました。

4つ目で初めて建築の現場でした。脇町にある北岡組が建てている現場でした。3階建てでまだ壁も出来ていない状況でした。部屋の配置、取り壊す前の家具の配置などが良く分かりました。

昼食には「ふぐ処 味喜」で御馳走になりました。おいしくちょうどいい量でした。

この4つの現場を見てとても自分のためになったと思います。今回学んだ事を忘れず就職や就職後にも生かして行って今回のことを役に立てていきたいです。

○徳善太陽

今回の現場見学会では貴重な体験をさせてもらい、現場で働いている人のお話を聞かせてもらって、とても有意義な時間を過ごすことができました。

1つ目の現場で、作業中の映像が流れたとき、思ったより大きな音が流れてびっくりしました。VRでは、事故による危険性についての映像が流れていました。

2つ目の現場でも、VR体験などをさせて頂きました。この現場では堤防を造っていました。

3つ目の現場でもVR体験をさせてもらって、他にもドローンを操作させてもらいました。重機のオペレータになるには、とても難しいという話も聞きました。

4つ目の現場は、老人福祉センターの大規模改修工事を行っていて、工事中の現場の中を歩かせてくれて、とても貴重な体験をさせて頂きました。

4つの現場のうち、3つの現場では、VRやドローンを使っていて、建設業での技術が進歩して

いるのだなと感じました。

今回の現場見学会で様々な重機を知ることができたので良かったです。バスの中で聞いた話もとても貴重なものばかりでとても参考になりました。昼食もとてもおいしかったです。

今回は忙しい中、時間を割いていただき、お話をしてもらいとても感謝しています。この現場見学会で学んだことを、就職の時や将来に生かしていこうと思います。ありがとうございました。

○福島ゆう

この現場見学会で一番心に残ったことは、2番目に行った現場と3番目に行った現場でした。

2番目に行った現場では堤防護岸工事を見に行きました。土木と建築の2組に分かれて最初に3Dテクノロジーを用いた計測と誘導システムを体験させて頂きました。VR技術では、水中部の地形を横から見たり、上から見たりしました。

次に土木と交代してIMUセンサーを用いたマシンコントロールシステムを体験させて頂きました。この体験ではお菓子を交換できる券を探しました。赤い点を中心に合わせてその赤い点と表示された青い点を重ねる作業が少し難しかったです。

3番目に行った高木建設さんの現場では、2つの見学と2つの体験をさせて頂きました。その中で、ドローン操縦体験が一番心に残りました。簡単だと思っていたドローンの操縦が意外に難しく、自分が飛ばしたい方向に飛びませんでした。地形の測量でドローンを使っているのはびっくりしました。

この現場見学会を通して私は、VRやドローン、3次元データなどの機械を使って測量や設計、施工を行うことが増えていっているのだと思いました。

また、バスの中で話を聞いて、建設業界の人達は凄いと思いました。今、災害などで主に携わっていて、地域に貢献しているところにとっても尊敬しました。私も地域に貢献していけるような人になりたいです。

○三橋拓真

初めに、株式会社ガイアート様の現場見学で、トンネルを見学させて頂きました。このトンネルができることで約十分の時間短縮や安全性の高い道が確保できるなど良い効果が期待されています。この見学では、トンネルの造り方や現地での安全確認の大切さを学びました。トンネルでは危険が多く潜んでいる中で一生懸命に働いている姿を見て凄いと思いました。

次に、株式会社井上組様の現場見学をさせて頂きました。ここでは、堤防を造っていました。建設の現場にも3Dデータの活用をされていると言う話をして頂きました。ここでは、快速ナビとプリズムを使って予め設定していた座標の位置を探す体験をしました。最後にお菓子を頂きました。

昼食を食べた後は、有限会社高木組様の現場見学をさせて頂きました。ここでは、ほ場整備と堤防を造っていました。見学や体験は、マシンコントロールバックホウ、マシンコントロールブルドーザ、VR、ドローンなどをしました。最後にドローンで記念撮影をしました。

最後に見学したのは株式会社北岡組様の旧脇町老人福祉センター耐震・大規模改修工事を現場見学させて頂きました。改修工事中の建物に入って見学をさせて頂きました。僕は、何度か入ったことがあったので建物の中が凄く変わっていたのが分かりました。

今回の現場見学を生かして将来の職種を決めていきたいです。